

令和 4 年 6 月 28 日現在

機関番号：11301

研究種目：基盤研究(B)（一般）

研究期間：2018～2021

課題番号：18H01045

研究課題名（和文）高度情報技術基盤社会に向けた初等中等教育の次世代情報教育の体系化に関する研究

研究課題名（英文）A study on systematization of next generation information education of elementary and secondary education toward advanced information technology foundation society

研究代表者

堀田 龍也（Horita, Tatsuya）

東北大学・情報科学研究科・教授

研究者番号：50247508

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 13,100,000円

研究成果の概要（和文）：次世代を生きることになる児童生徒には、高度情報技術が基盤となった社会を前提としたリテラシーの育成が求められる。本研究では、高度情報技術社会に向けた初等中等教育における次世代情報教育を構想した。今後10年間で情報教育の基盤となるであろう要素研究を個別に実証的に推進し、それらの研究成果と開発された実践や教材等の成果を体系化することを試みた。要素研究と成果の体系化の往還を経て、情報活用、ICTツール活用、プログラミング、技術理解、社会理解、統計リテラシー、文脈思考、情報化の影の克服、授業設計、授業実践、教員研修の11分野の要素ごとに実践的な研究を実施した。

研究成果の学術的意義や社会的意義

AIやIoTなどに代表されるような情報技術が急速に高度化して社会の基盤となり、生活、産業、ひいては社会構造が大きく変容しつつある中、次世代を生きることになる児童生徒には、高度情報技術が基盤となった社会を前提としたリテラシーの育成が求められる。本研究は、2030年頃と想定される学習指導要領の策定に対して学術的エビデンスを提供することで貢献しようという立場で取り組んだ。本研究では、高度情報技術社会に向けた初等中等教育における次世代情報教育を構想した。要素研究と成果の体系化の往還を経て、11分野の要素ごとに実践的な研究を実施した。

研究成果の概要（英文）：Students who will live in the next generation are required to develop literacy on the premise of a society based on advanced information technology. This study envisaged next-generation information education in primary and secondary education for an advanced information technology-based society.

After promoting elemental studies that will become the foundation of information education in the next decade on an individual and empirical basis, we attempted to systematise the results of these studies and the developed practices, teaching materials and other outcomes.

Through a back-and-forth between elemental research and systematisation of results, practical research was conducted in each of the 11 elemental areas of information use, ICT tool use, programming, technological understanding, social understanding, statistical literacy, contextual thinking, overcoming the shadow of informatisation, class design, class practice and teacher training.

研究分野：教育工学

キーワード：情報教育 高度情報技術基盤社会 初等中等教育 教育内容 教育課程

1. 研究開始当初の背景

いわゆる情報リテラシーを身に付けることは、21世紀を生きる子供たちにとって必須のことであり、多くの先進諸国が初等中等教育の段階で「情報」「Computing」等の教科を設置し体系的な教育を実施している。一方、我が国においては、2020年全面実施予定の新学習指導要領において、ようやく「学習の基盤となる資質・能力としての情報活用能力」と明記され、2030年頃と想定されるその次の学習指導要領までの約10年間かけて全国の学校で実践化しようというところである。情報教育の分野において我が国はまさに発展途上にある状況であり、高度に情報技術が発展し社会の基盤となっていく時代の教育の遅れは長期的には国家としての発展を阻害することとなる。

教育工学の分野においても、現実の問題解決を行う実践的研究はいくつも取り組まれているが、近未来の教育課程に影響を与えるような理論駆動型の実践的研究については十分とはいえない。しかも、義務教育段階の限定的なリソースの中で最適化する方法論についての検討がなされず、理想的に期待される実践が提供されることにより、学校現場の多忙化に加担すらしている。

本研究では、このような我が国の現状を理論的かつ実践的研究によって突破することを狙い、この分野に関わる中堅からベテランの研究者を組織して2030年頃の高度情報技術社会に向けた初等中等教育における次世代情報教育を構想し、先進的な実践として具現化し、実証的な研究を重ね、政策において必要となる学術的エビデンスを提供する。

2. 研究の目的

(1) 本研究で明らかにすること

本研究の目的は、要素研究ごとの「問い」を実証的に明らかにし、それらの成果を体系づけることによって、次世代情報教育を構想し、これを政策に実装する際に必要となる学術的エビデンスとして提供することである。

(2) 本研究の社会的意義

本研究は、高度情報技術社会に向けた初等中等教育における次世代情報教育を構想し、国内外の先進的な実践を能力観、カリキュラム、授業環境、教師教育などにフォーカスしてレビューした上で、基盤となる9つの要素研究を実証的に推進し、それらの研究成果と開発された教材等を体系化して広く公表し、もって2030年頃と想定される学習指導要領の策定に対して学術的エビデンスを提供することで貢献しようというものである。

3. 研究の方法

本研究においては、現行の情報教育の構造を抜本的に見直し、高度情報技術社会に向けた次世代情報教育を具体的に構想するために、以下の9つの基盤となる要素研究に分割し、それぞれの要素ごとに学術的「問い」を立てた。

技術理解：今後の社会基盤となる人工知能やIoTにおいて、トレンドではなく原理的に学習すべき内容とは何か、すでに高等学校で行われている情報科学に関する基本的な知識や見方・考え方の学習は学年段階をどこまで引き下げることができるか

社会理解：高度情報技術社会に見られる現象のうち学習対象とすべきことは何か、これらを学習内容とした際の親学問群をどのように再体系化するか

ICTツール活用：ICTを道具として活用するためのリテラシーの育成において、各段階で求められるスキルとその育成カリキュラムをどのように学習指導要領に位置づけることが可能か

情報活用：体験およびICT経由で得られるさまざまな情報を処理する認知的能力のうち、初等中等教育における学習活動で多く必要とされるものは何か、それはどのような学習過程で育成可能か

文脈思考：大量で断片的な情報に対して一面的な解釈に留まらず、当該情報が発信された文脈を理解し冷静に対応しようという思考は、どのような学習過程で育成可能か

影の克服：ICTを道具として活用する頻度が向上することを前提に、その影の部分に対応し克服するために必要となる知識、技能、態度、習慣等について、学習すべき内容とは何か

授業設計：高度情報技術が基盤となることを実感させる授業において、ICTを道具として活用するばかりでなくプログラミング等によって自動化させるための学習体験は、どのような授業設計モデルに整理できるか

学習環境：学習活動をツールとしての ICT やネットワーク環境、クラウド、IoT、AI などの高度情報技術が支えていることを実感させるような学習環境のためには、学校にどのような整備が必要か

教師教育：次世代の情報教育を支える教師には、新たにどのような知識・技能が求められるか、その教師教育の方法論はどのような原理に基づくべきか

4. 研究成果

(1) 研究の経過

第 1 年次の研究の途上で、情報活用に加えて ICT ツール活用を、技術理解に加えて社会理解を、教師教育を教員養成と教員研修に分けて検討した。第 2 年次は、さらにプログラミングと統計リテラシーを加えて要素研究を拡張した。第 3 年次以降は、探究学習、学習環境、教員養成については一定の成果を得たため検討から外し、学校現場の授業実践の観点を加えて要素研究を拡張した。順序も整理した結果、情報活用、ICT ツール活用、プログラミング、技術理解、社会理解、統計リテラシー、文脈思考、情報化の影の克服、授業設計、授業実践、教員研修の 11 分野とした。

(2) 「情報活用」「ICT ツール活用」の研究成果

高度情報通信社会を迎えた今日における情報リテラシーに関する教育はどうあるべきなのかという問いに対する初等中等教育段階を対象とした教育について検討するために、初等中等教育において取り組まれている情報リテラシー教育の実践や研究を整理し、課題を指摘した[1]。

1 人 1 台情報端末の環境で初めて学習する児童の情報端末や周辺機器等を操作するスキル（以下、ICT 操作スキル）の習得状況を明らかにするため、1) キーボードによる日本語入力速度と、2) 基本的な操作やアプリの操作の習得に関する意識を調査した。キーボードによる日本語入力は、活用開始から 2 か月、3 か月、4 か月と入力速度が有意に速くなり、文章を見たままに入力する視写入力の方が、文章を読んで考えたことなどを入力する思考入力より速いが、4 か月でその差が縮まった[2]。

児童 1 人 1 台の情報端末の活用に関する児童向け意識調査等を行い、学校の端末環境や学年等で学習者用基本ツールの操作スキルの習得がどの程度異なるかを比較分析し、児童が情報端末を身近な学習の道具として活用できるかを考察した。9 自治体 14 校の 4 学年から 6 学年までの児童 1095 人の回答を分析した結果、【表計算】、【プレゼンテーション】、【プログラミング】、【交流ツール】の操作スキルへの評価は低く、校内での活用場面も少なく、操作スキルを向上させるための指導の工夫が必要であることが示された。情報端末環境や学年の違いによる比較では、基本ツールの操作スキルに関する回答結果において、5 カテゴリー全てで、1 人 1 台環境にある児童が、情報端末を共用する児童より有意に高く、特に【表計算】、【プレゼンテーション】、【交流ツール】では、学校の ICT 環境や指導、学年の違いが影響することが示され、教科横断的に習得できるよう指導することが重要であることを明らかにした[3]。

小学校高学年児童の学校生活におけるグループでのチャットの活用の特徴を明らかにすることを目的として、公立小学校の第 6 学年における、グループでのチャット（チャットルーム）の活用状況を調査した。その結果、児童がチャットルームを開設する目的は、「学校行事」「学年行事」「有志活動」であった。開設された目的によって、活用の頻度に差が見られること、同じ目的で開設されたものであっても、具体的な活用のされ方は異なることが示唆された[4]。

(3) 「プログラミング」「技術理解」「社会理解」の研究成果

東京都プログラミング教育推進校の実践事例に対し、学年、教科等、教材の関連性を検討した。その結果、調査対象全体として、学年間の実践事例数に有意差がない、学習指導要領に学習活動の例示がある学年、教科等では、PC を活用する教材を主に使用している、低学年は、PC を活用しない教材を主に使用しているということが示された[5]。

小学校プログラミング授業で、協調的プログラミングの一方法であるペアプログラミングと、1 人 1 台の情報端末でのプログラミング（以後：1 人 1 台）による授業を小学校 6 年の 2 学級で交互に実施し、児童の意識の変容を 1 人 1 台と比較して検証した。授業後の児童向け意識調査を分析した結果、ペアプログラミングが 1 人 1 台よりも協力度や計画性等で有意に高い結果であった[6]。

児童同士の交流に着目したプログラミングの学習の場を、休み時間等の授業時間外に設定した実践を行い、その有効性と交流の実態を調査した。結果、提示した課題を教師が介入することなく、児童だけで達成することが概ね可能であることが示唆された。また、教師が指導する学習形態よりも児童だけで学ぶ学習形態を好む児童が有意に多いことが示された。さらに、児童同士の交流の実態を調査したところ、児童は事前のプログラミング技能の差に関わらずに他者と交

流を行い、課題を達成している可能性が示唆された[7]。

小学校のプログラミング教育において、学習状況の共有化ツールを活用して児童のプログラミングの状況をクラス内で共有した場合の効果について検討した。その結果、学習状況の共有化ツールを活用すると、プログラミングに使用するブロックの数や種類が増える、他グループの工夫に気付きやすくなるなど効果的に学習できる傾向が見られた[8]。

小学校社会科の農業の学習においてドローンを用いたプログラミング教育を実践し、テクノロジーを米作りへ活用する必要性の理解に関する効果について検証した。その結果、ドローンを用いたプログラミング教育が、ドローンを米作りに活用することを想起させることに有効であり、米作りへの参画意識を育むことが示唆された。また、ドローンを用いたプログラミング教育を経験することにより、ドローンを米作りに活用することの必要性を理解するとともに、人が担う役割について再考するなど、これからの米作りに必要なことについての思考を促すことが示唆された[9]。

小学校理科においてプログラミングによるアイデアの具現化を取り入れた防災教育の授業を開発して実践した。プログラミングツールには、各種センサーを利用できるマイコンボードを活用した。実践の結果、児童は開発した授業を概ね好意的に評価した。また、「防災・減災について自分にもできることがある」、「プログラミングは防災・減災に役立つ」と考える意識の高まりが確認された[10]。

(4) 「統計リテラシー」「文脈思考」「情報化の影の克服」の研究成果

小学校の教科書で用いられているグラフの表現形式と想定される学習時期による分類を行った。その結果、教科の内容としてグラフの読み取り方等を学習する算数科よりも、グラフを活用して教科の内容を学習する他教科の方が特定の表現形式のグラフの学習時期が早くに想定されている場合や、算数科と他教科における、特定の現形式のグラフの学習時期が離れている場合がみられた。また、社会科や理科の教科書においては、算数科における学習の機会が少ない、もしくはない表現形式のグラフがみられた[11]。

日本教育メディア学会における学校教育を対象としたメディア・リテラシー教育の実践研究122件の実践研究を整理した結果、「教材開発」「評価・目標達成」をテーマにした実践研究および「メディアのあり方を提案する能力」の育成をねらいとした実践研究の割合が低く、今後の実践課題であることが示唆された[12]。

GIGA スクール構想の標準仕様にしたがって ICT 環境が整備された学校で 1 人 1 台の端末を活用した実践を先行実施していた小学校教師の情報モラル指導に対する負担感・困難さを検討することを目的に、半構造化インタビューを実施した。その結果、【A 情報モラル指導のタイミングの難しさ】【B 情報モラルの指導形態に関する迷い】【C 端末の活用場面に即した指導だけでは補えない指導内容】【D 情報モラル指導に対する教員間の考え方や進度の調整】【E 情報モラルに関する個別指導】【F 児童間のオンラインでのやりとりの観察】の 6 種類が確認できた[13]。

小学校でのタブレット端末利用における、児童が抱えるユーザビリティの問題と身体疲労に着目した検討を行った。タブレット端末を 1 年以上使用した小学 1 年から 6 年までの児童 830 名を対象として、タブレット端末の使いやすさと児童の身体的側面への影響に関するアンケート調査を実施した。その結果、児童の約 57% がタブレット端末の画面に蛍光灯が映りこんで見にくいと感じていることや、3 人に 1 人の児童が眼や首、肩などに身体疲労を感じていることが明らかになった[14]。

(5) 「授業設計」「授業実践」「教員研修」の研究成果

文部科学省による情報活用能力の IE-School 体系表をもとに小学校、中学校、高等学校の各教科等の学習指導要領本文を分析した。分析の結果、各教科等には IE-School 体系表で整理された情報活用能力の項目のうち「問題解決・探究における情報活用の方法の理解」が多く求められているのに対して、操作技能や情報メディアの特徴、情報モラル等の知識及び技能、態度などは、各教科等の学習と対応づく数が少ないことが明らかになった。また、各教科等の学習活動を通して指導可能な情報活用能力とそれらの各教科等相互の関連が明らかになった[15]。

1 人 1 台の端末を活用している学級への ICT 活用に関する児童と教師への調査から、導入初期の児童による ICT 活用と教師の指導の特徴を検討した。その結果、児童は 1 人 1 台の情報端末を日々の活動の中で、さまざまなアプリケーションを組み合わせながらクラウド上でコミュニケーションを取っていたこと、教師は学校内の情報端末の活用については指導できるが、家庭学習については自治体のルールや情報モラルの観点から指導できていないことが特徴として挙げられた[16]。

1 人 1 台の情報端末を活用した小学校の授業で用いられる教師の教授知識の特徴を明らかにするため、授業で観察された教師の教授行動の背景にある意図について授業者にインタビュー

を行い、その内容を「授業についての教師の知識領域」(吉崎 1988a)の枠組みを参考に分類した。その結果、1人1台の情報端末を活用した授業においても、情報端末を用いる以前から示されていた枠組みが授業者の教授行動の背景として存在する教授知識あるいは考え方を分類するうえで適用可能であることが示唆された。また、授業者が用いた教授知識の中には、学習活動や学習機会、学年、教科の影響を考慮する必要がある特徴をもつ知識も示された。さらに、ICTに関する知識を吉崎が示した知識領域との関連の中に見出した。その結果、ICTに関する知識は4つに分類され、吉崎が示した知識領域の拡張と捉えられるものとそうでないものがあることが示唆された[17]。

(6) 今後の課題

次期学習指導要領に向けた議論は、中央教育審議会等ですでにスタートしている。本研究における研究成果を、政策決定の場に積極的に提供していきたい。

<引用文献>

- [1] 堀田龍也, 佐藤和紀 (2019) 日本の初等中等教育における情報リテラシーに関する教育の動向と課題. 電子情報通信学会 通信ソサイエティマガジン 13(2):117-125
- [2] 渡邊光浩, 三井一希, 佐藤和紀, 中野生子, 小出泰久, 堀田龍也 (2021) 1人1台情報端末の環境で初めて学習する児童のICT操作スキルの習得状況. コンピュータ&エデュケーション 50:84-89
- [3] 山本朋弘, 堀田龍也 (2021) 1人1台の情報端末環境での学習者用基本ツールの操作スキルに関する児童向け意識調査の分析. 日本教育工学会論文誌 45(3):341-351
- [4] 久川慶貴, 佐藤和紀, 三井一希, 高橋純, 堀田龍也 (2021) 小学校高学年児童の学校生活におけるグループでのチャットの活用の特徴. 日本教育工学会論文誌 45(Suppl.):141-144
- [5] 鈴木美森, 佐藤和紀, 三井一希, 中川哲, 山本朋弘, 堀田龍也 (2021) 東京都プログラミング教育推進校の実践事例における学年・教科等・教材の関連性の検討. 日本教育工学会論文誌 45(Suppl.):89-92
- [6] 山本朋弘, 堀田龍也 (2020) ペアプログラミングを取り入れた小学校プログラミング授業での意識の変容に関する一考察. 日本教育工学会論文誌 43(Suppl.):45-48
- [7] 三井一希, 佐藤和紀, 渡邊光浩, 中野生子, 小出泰久, 堀田龍也 (2021) 児童同士の交流に着目した授業時間外でのプログラミング学習の実践. 日本教育工学会論文誌 45(Suppl.):101-104
- [8] 三井一希, 八代一浩, 水越一貴, 佐藤和紀, 萩原文博, 竹内慎一, 堀田龍也 (2018) 小学校のプログラミング教育における学習状況の共有化ツール活用の効果. コンピュータ&エデュケーション 45:79-84
- [9] 大久保紀一郎, 佐藤和紀, 山本朋弘, 板垣翔大, 中川哲, 堀田龍也 (2022) 小学校社会科第5学年の農業単元におけるドローンを用いたプログラミング教育の実践とその効果. 日本教育工学会論文誌 46(1):157-169
- [10] 三井一希, 塩島諒輔, 佐藤和紀, 堀田龍也 (2020) 小学校理科におけるプログラミングによるアイデアの具現化を取り入れた防災教育の授業開発. コンピュータ&エデュケーション 48:76-81
- [11] 安里基子, 佐藤正寿, 高橋純, 堀田龍也 (2021) 算数科におけるグラフの学習と国語科・社会科・理科におけるグラフを活用した学習の関連 -想定されるグラフの学習時期とグラフの表現形式を基に-. 日本教育工学会論文誌 45(Suppl.):125-128
- [12] 手塚和佳奈, 佐藤和紀, 三井一希, 板垣翔大, 泰山裕, 堀田龍也 (2021) 日本教育メディア学会における学校教育を対象としたメディア・リテラシー教育の実践研究の整理からみる今後の実践課題. 教育メディア研究 27(2):101-119
- [13] 手塚和佳奈, 佐藤和紀, 三井一希, 堀田龍也 (2021) 1人1台端末環境で実践した小学校教師による情報モラル指導に対する負担感・困難さと実践上の工夫の検討. 日本教育工学会論文誌 45(Suppl.):133-136
- [14] 柴田隆史, 佐藤和紀, 堀田龍也 (2019) 教室でのタブレット端末利用における課題と児童の疲労に関する調査. 人間工学 55(5):212-221
- [15] 泰山裕, 堀田龍也 (2021) 各教科等で指導可能な情報活用能力とその各教科等相互の関連 -平成29・30年改訂学習指導要領の分析から-. 日本教育工学会論文誌 44(4):547-559
- [16] 佐藤和紀, 三井一希, 手塚和佳奈, 若月陸央, 高橋純, 中川哲, 堀田龍也 (2021) 1人1台情報端末の導入初期における児童によるICT活用と教師の指導の特徴. 日本教育工学会論文誌 45(3):353-364
- [17] 八木澤史子, 堀田龍也 (2021) 1人1台の情報端末を活用した小学校の授業で用いられる教師の教授知識の特徴. 日本教育工学会論文誌 44(4):431-442

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計65件（うち査読付論文 65件 / うち国際共著 0件 / うちオープンアクセス 63件）

1. 著者名 村井明日香, 堀田龍也	4. 巻 Vol.27 No.2
2. 論文標題 番組制作者による書籍の質的分析を通じたテレビ・ドキュメンタリーのリテラシーの構成要素の抽出	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 教育メディア研究	6. 最初と最後の頁 81-99
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -
1. 著者名 手塚和佳奈, 佐藤和紀, 三井一希, 板垣翔大, 泰山裕, 堀田龍也	4. 巻 Vol.27 No.2
2. 論文標題 日本教育メディア学会における学校教育を対象としたメディア・リテラシー教育の実践研究の整理からみる今後の実践課題	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 教育メディア研究	6. 最初と最後の頁 101-119
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -
1. 著者名 小田理代, 登本洋子, 堀田龍也	4. 巻 Vol.12
2. 論文標題 初等教育のコンピュータサイエンス教育プログラムの動向調査 シンガポール・エストニア・イタリアに着目して	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 コンピュータ利用教育学会 CIEC春季カンファレンス論文集	6. 最初と最後の頁 68-73
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 泰山裕, 堀田龍也	4. 巻 Vol.44 No.4
2. 論文標題 各教科等で指導可能な情報活用能力とその各教科等相互の関連 -平成29・30年改訂学習指導要領の分析から-	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 日本教育工学会論文誌	6. 最初と最後の頁 547-560
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 八木澤史子, 堀田龍也	4. 巻 Vol.44 No.4
2. 論文標題 1人1台の情報端末を活用した小学校の授業で用いられる教師の教授知識の特徴	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 日本教育工学会論文誌	6. 最初と最後の頁 431-442
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 石塚丈晴, 弘中大介, 堀田龍也	4. 巻 SSS2020
2. 論文標題 小学校低学年からを対象としたプログラミングの基本処理を身に付ける教材及びアプリの開発	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 情報処理学会 情報教育シンポジウム	6. 最初と最後の頁 164-169
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 竹本石樹, 小川博士, 堀田龍也, 熊野善介	4. 巻 第44巻 第4号
2. 論文標題 Webベースの小学校STEM授業デザイン検討会における教師と研究者, 技術者との関わりに関する特徴 - 発話データをを用いたネットワーク分析を通して -	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 科学教育研究	6. 最初と最後の頁 338-352
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 登本洋子, 高橋純, 堀田龍也	4. 巻 Vol.44 Suppl.
2. 論文標題 高校生のPC・スマートフォンの文字入力に関する調査	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 日本教育工学会論文誌	6. 最初と最後の頁 29-32
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 八木澤史子, 堀田龍也	4. 巻 Vol.44 Suppl.
2. 論文標題 1人1台の情報端末を活用した小学校の授業における教師の意思決定の特徴	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 日本教育工学会論文誌	6. 最初と最後の頁 25-28
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 小田理代, 登本洋子, 堀田龍也	4. 巻 第36巻 第2号
2. 論文標題 小学校から大学・社会人までのコンピュータサイエンスの体系的な指導に向けての考察	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 教育情報研究	6. 最初と最後の頁 15-27
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 大久保紀一郎, 和田裕一, 窪俊一, 堀田龍也	4. 巻 Vol.27 No.1
2. 論文標題 小学校高学年児童におけるマンガ読書 読書実態および意識・態度に関する調査研究	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 教育メディア研究	6. 最初と最後の頁 13-29
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 山本朋弘, 城井順一, 堀田龍也	4. 巻 第44巻第2号
2. 論文標題 IoT教材を活用した小学校プログラミング教育における学習課題を段階的に設定した授業実践	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 科学教育研究	6. 最初と最後の頁 86-92
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 三井一希, 塩島諒輔, 佐藤和紀, 堀田龍也	4. 巻 Vol.48
2. 論文標題 小学校理科におけるプログラミングによるアイデアの具現化を取り入れた防災教育の授業開発	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 コンピュータ&エデュケーション	6. 最初と最後の頁 76-81
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また, その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 山本朋弘, 三井一希, 木村明憲, 大久保紀一朗, 堀田龍也	4. 巻 Vol.44 No.1
2. 論文標題 小学校プログラミング教育の推進に関する個人別態度の構造分析	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 日本教育工学会論文誌	6. 最初と最後の頁 145-154
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また, その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 堀田龍也	4. 巻 Vol.35 No.3
2. 論文標題 超スマート社会に向けた我が国の初等中等教育の課題と学会活動への期待	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 教育情報研究	6. 最初と最後の頁 3-13
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また, その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Okubo Kiichiro, Sato Kazunori, Wada Yuichi, Asai Kazuyuki, Kubo Shunichi, Horita Tatsuya	4. 巻 2
2. 論文標題 Study of Manga Reading as an Effective Teaching Method Based on the Text Comprehension Process	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 International Journal of Learning Technologies and Learning Environments	6. 最初と最後の頁 54 ~ 66
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.52731/ijltle.v2.i2.383	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また, その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 八木澤 史子、佐藤 和紀、堀田 龍也	4. 巻 43
2. 論文標題 1人1台端末を活用した小学校の授業における教師の教授行動の分析	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 日本教育工学会論文誌	6. 最初と最後の頁 41～44
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.15077/jjet.S43032	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 山本 朋弘、堀田 龍也	4. 巻 43
2. 論文標題 ペアプログラミングを取り入れた小学校プログラミング授業での意識の変容に関する一考察	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 日本教育工学会論文誌	6. 最初と最後の頁 45～48
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.15077/jjet.S43035	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 山本 朋弘、堀田 龍也	4. 巻 43
2. 論文標題 小学校プログラミング教育に対する教員の意識調査に基づく促進・阻害要因モデルの検討	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 日本教育工学会論文誌	6. 最初と最後の頁 275～284
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.15077/jjet.43003	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 中川 哲、佐藤 和紀、齋藤 玲、堀田 龍也	4. 巻 43
2. 論文標題 教科担任と学級担任による筆答テストの採点業務を支援するシステムの開発と評価	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 日本教育工学会論文誌	6. 最初と最後の頁 433～445
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.15077/jjet.43054	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 大久保 紀一郎、和田 裕一、窪 俊一、堀田 龍也	4. 巻 61
2. 論文標題 マンガの理解度を与えるワーキングメモリ容量の影響	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 読書科学	6. 最初と最後の頁 128 ~ 142
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.19011/sor.61.3-4_128	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 柴田隆史, 佐藤和紀, 堀田龍也	4. 巻 Vol.55, No.5
2. 論文標題 教室でのタブレット端末利用における課題と児童の疲労に関する調査	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 人間工学	6. 最初と最後の頁 212-221
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Horita Tatsuya, Sato Kazunori	4. 巻 13
2. 論文標題 Trends and Issues of Information Literacy Education on Primary and Secondary Education in Japan	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 IEICE Communications Society Magazine	6. 最初と最後の頁 117 ~ 125
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1587/bplus.13.117	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 後藤 心平、齋藤 玲、佐藤 和紀、堀田 龍也	4. 巻 25
2. 論文標題 ラジオ局による高校生を対象としたメディア・リテラシー育成プログラムの再検討と評価	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 教育メディア研究	6. 最初と最後の頁 13 ~ 27
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.24458/jaems.25.2_13	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 八木澤 史子、堀田 龍也	4. 巻 25
2. 論文標題 児童が情報端末を活用する授業において用いられる教師の知識	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 教育メディア研究	6. 最初と最後の頁 29～43
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.24458/jaems.25.2_29	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 柴田 隆史	4. 巻 40
2. 論文標題 特集：近視 学校でのICT活用の現状と近視予防	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 視覚の科学	6. 最初と最後の頁 79～84
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11432/jpnjvissci.40.79	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 木村 明憲、黒上 晴夫、谷口 生歩	4. 巻 26
2. 論文標題 小学校でのタブレットPCを活用した国際交流による資質・能力の変容	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 教育メディア研究	6. 最初と最後の頁 1～17
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.24458/jaems.26.2_1	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 安里 基子、佐藤 和紀、高橋 純	4. 巻 26
2. 論文標題 教員養成課程の学生に情報モラル指導法に関する指導を行う際の留意点の検討	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 教育メディア研究	6. 最初と最後の頁 21～30
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.24458/jaems.26.1_21	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kazunori SATO, Ryo SAITO, Tatsuya HORITA	4. 巻 Vol.41 Vol.1
2. 論文標題 The Effects of Continuation of Media Literacy Lessons, Media Experience, and Teaching Experience Toward Elementary School Teachers Media Literacy	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Journal of Educational Technology Research	6. 最初と最後の頁 13-24
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.15077/etr.42080	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 後藤 心平、齋藤 玲、佐藤 和紀、堀田 龍也	4. 巻 25
2. 論文標題 ラジオ局による高校生を対象としたメディア・リテラシー育成プログラムの再検討と評価	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 教育メディア研究	6. 最初と最後の頁 13~27
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.24458/jaems.25.2_13	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 八木澤 史子、堀田 龍也	4. 巻 25
2. 論文標題 児童が情報端末を活用する授業において用いられる教師の知識	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 教育メディア研究	6. 最初と最後の頁 29~43
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.24458/jaems.25.2_29	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 大久保 紀一郎、和田 裕一、窪 俊一、堀田 龍也	4. 巻 25
2. 論文標題 マンガの読解力と文章の読解力の関係性	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 教育メディア研究	6. 最初と最後の頁 19~35
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.24458/jaems.25.1_19	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 三井一希, 八代一浩, 水越一貴, 佐藤和紀, 萩原文博, 竹内慎一, 堀田龍也	4. 巻 Vol.45
2. 論文標題 小学校のプログラミング教育における学習状況の共有化ツール活用の効果	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 コンピュータ&エデュケーション	6. 最初と最後の頁 79-84
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また, その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Haruo Kurokami & Akari Kojima	4. 巻 12(1)
2. 論文標題 Development and Effectiveness of Digital Graphic Organizers	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 International Journal for Educational Media and Technology	6. 最初と最後の頁 57-64
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また, その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 三宅 貴久子, 久保田 賢一, 黒上 晴夫, 岸 磨貴子	4. 巻 41
2. 論文標題 教師と児童の共同によるルーブリック作成の意味	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 日本教育工学会論文誌	6. 最初と最後の頁 221 ~ 224
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.15077/jjet.S41113	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また, その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 小柳和喜雄	4. 巻 11
2. 論文標題 授業でのICT活用において教員に求められる専門知識の研究	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 学校教育実践研究	6. 最初と最後の頁 87-93
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また, その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 渡邊光浩, タクセイセン, 佐藤和紀, 堀田龍也	4. 巻 第56号
2. 論文標題 短大生の日本語キーボード入力スキルの実態把握と支援システムに求められる要件の検討	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 鹿児島女子短期大学紀要	6. 最初と最後の頁 87-92
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yamamoto Tomohiro, Horita Tatsuya	4. 巻 4
2. 論文標題 Examination of Remote Support by University Students for Programming-Related Lessons in Elementary Schools	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 International Journal of Learning Technologies and Learning Environments	6. 最初と最後の頁 43 ~ 56
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.52731/ijltle.v4.i1.611	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yamamoto Tomohiro, Horita Tatsuya	4. 巻 1
2. 論文標題 Analysis of Promotion/Inhibition Factor Model Based on Teacher 's Attitude Survey for Programming Education at Elementary School	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Information and Technology in Education and Learning	6. 最初と最後の頁 Trans-p002
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.12937/itel.1.1.Trans.p002	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Takashi Shibata, Erika Drago, Takayuki Araki, Tatsuya Horita	4. 巻 15(1)
2. 論文標題 Comparison of 2D and 3D Views on Educational Virtual Reality Content	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 International Journal for Media in Education	6. 最初と最後の頁 14-22
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Oda Michiyo, Noborimoto Yoko, Horita Tatsuya	4. 巻 4
2. 論文標題 International Trends in K?12 Computer Science Curricula Through Comparative Analysis: Implications for the Primary Curricula	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 International Journal of Computer Science Education in Schools	6. 最初と最後の頁 24-58
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.21585/ijcses.v4i4.102	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 大久保 紀一郎、佐藤 和紀、山本 朋弘、板垣 翔大、中川 哲、堀田 龍也	4. 巻 46
2. 論文標題 小学校社会科第5学年の農業単元におけるドローンを用いたプログラミング教育の実践とその効果	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 日本教育工学会論文誌	6. 最初と最後の頁 157 ~ 169
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.15077/jjet.45075	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 山本 朋弘、堀田 龍也	4. 巻 45
2. 論文標題 1人1台の情報端末環境での学習者用基本ツールの操作スキルに関する児童向け意識調査の分析	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 日本教育工学会論文誌	6. 最初と最後の頁 341 ~ 351
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.15077/jjet.45011	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 佐藤 和紀、三井 一希、手塚 和佳奈、若月 陸央、高橋 純、中川 哲、堀田 龍也	4. 巻 45
2. 論文標題 1人1台情報端末の導入初期における児童によるICT活用と教師の指導の特徴	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 日本教育工学会論文誌	6. 最初と最後の頁 353 ~ 364
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.15077/jjet.45019	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 堀田 龍也	4. 巻 45
2. 論文標題 初等中等教育のデジタルトランスフォーメーションの動向と課題	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 日本教育工学会論文誌	6. 最初と最後の頁 261～271
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.15077/jjet.45140	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 安里基子, 佐藤正寿, 高橋純, 堀田龍也	4. 巻 37(2-3)
2. 論文標題 小学校第5学年社会科の教科書で用いられているグラフからの情報の取り出しに関する児童の実態 - グラフの表現形式の観点から -	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 教育情報研究	6. 最初と最後の頁 3-16
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 鈴木 美森, 佐藤 和紀, 三井 一希, 中川 哲, 山本 朋弘, 堀田 龍也	4. 巻 45
2. 論文標題 東京都プログラミング教育推進校の実践事例における学年・教科等・教材の関連性の検討	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 日本教育工学会論文誌	6. 最初と最後の頁 89～92
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.15077/jjet.S45045	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 手塚 和佳奈, 佐藤 和紀, 三井 一希, 堀田 龍也	4. 巻 45
2. 論文標題 1人1台端末環境で実践した小学校教師による情報モラル指導に対する負担感・困難さと実践上の工夫の検討	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 日本教育工学会論文誌	6. 最初と最後の頁 133～136
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.15077/jjet.S45067	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 安里 基子、佐藤 正寿、高橋 純、堀田 龍也	4. 巻 45
2. 論文標題 算数科におけるグラフの学習と国語科・社会科・理科におけるグラフを活用した学習の関連	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 日本教育工学会論文誌	6. 最初と最後の頁 125 ~ 128
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.15077/jjet.S45064	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 久川 慶貴、佐藤 和紀、三井 一希、高橋 純、堀田 龍也	4. 巻 45
2. 論文標題 小学校高学年児童の学校生活におけるグループでのチャットの活用の特徴	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 日本教育工学会論文誌	6. 最初と最後の頁 141 ~ 144
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.15077/jjet.S45069	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 遠藤 みなみ、堀田 龍也	4. 巻 45
2. 論文標題 小学校の初任者教師のICT 活用の省察に関する事例研究	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 日本教育工学会論文誌	6. 最初と最後の頁 145 ~ 148
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.15077/jjet.S45070	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 三井 一希、佐藤 和紀、渡邊 光浩、中野 生子、小出 泰久、堀田 龍也	4. 巻 45
2. 論文標題 児童同士の交流に着目した授業時間外でのプログラミング学習の実践	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 日本教育工学会論文誌	6. 最初と最後の頁 101 ~ 104
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.15077/jjet.S45052	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 小田理代, 登本洋子, 堀田龍也	4. 巻 51
2. 論文標題 コンピュータサイエンス教育カリキュラムに社会的要請をタイムラグ少なく導入する改善の検討	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 コンピュータ&エデュケーション	6. 最初と最後の頁 46-51
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また, その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 板垣翔大, 浅水智也, 佐藤和紀, 中川哲, 三井一希, 泰山裕, 安藤明伸, 堀田龍也	4. 巻 51
2. 論文標題 AIを活用したプログラミングを取り入れた授業が中学生のAIに対する意識に与える効果	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 コンピュータ&エデュケーション	6. 最初と最後の頁 58-63
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また, その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 渡邊 光浩, 三井 一希, 佐藤 和紀, 中野 生子, 小出 泰久, 堀田 龍也	4. 巻 50
2. 論文標題 1人1台情報端末の環境で初めて学習する児童のICT操作スキルの習得状況	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 コンピュータ&エデュケーション	6. 最初と最後の頁 84 ~ 89
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.14949/konpyutar iyoukyouiku.50.84	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また, その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 三井 一希, 佐藤 和紀, 渡邊 光浩, 中野 生子, 小出 泰久, 堀田 龍也	4. 巻 50
2. 論文標題 1人1台の情報端末を活用した児童の発表場面におけるモバイルディスプレイ導入の効果の検討	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 コンピュータ&エデュケーション	6. 最初と最後の頁 78 ~ 83
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.14949/konpyutar iyoukyouiku.50.78	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また, その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 佐藤 和紀、小田 晴菜、三井 一希、久川 慶貴、森下 孟、谷塚 光典	4. 巻 45
2. 論文標題 小学校高学年児童の意見文作成におけるクラウドサービスによる相互参照の効果	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 日本教育工学会論文誌	6. 最初と最後の頁 117 ~ 120
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.15077/jjet.S45061	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 荒川 詠美、三井 一希、佐藤 和紀	4. 巻 45
2. 論文標題 小学校高学年を対象とした情報の読み取りの順序の検討	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 日本教育工学会論文誌	6. 最初と最後の頁 129 ~ 132
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.15077/jjet.S45066	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 手塚和佳奈、佐藤和紀、三井一希、板垣翔大、泰山裕、堀田龍也	4. 巻 27(2)
2. 論文標題 日本教育メディア学会における学校教育を対象としたメディア・リテラシー教育の実践研究の整理からみる今後の実践課題	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 教育メディア研究	6. 最初と最後の頁 101 - 119
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 山本朋弘、堀田龍也	4. 巻 13
2. 論文標題 小学校段階におけるプログラミング教育の変遷と現状	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 中村学園大学発達支援センター研究紀要	6. 最初と最後の頁 36-43
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 寺内愛, 山本朋弘, 佐藤和紀, 堀田龍也	4. 巻 30
2. 論文標題 小学校プログラミング教育の学習指導案に見られる目標記述に関する質的分析	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 鹿児島大学教育学部教育実践研究紀要	6. 最初と最後の頁 125-134
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また, その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 高橋 純, 稲垣 忠	4. 巻 45
2. 論文標題 特集号「初等中等教育のデジタルトランスフォーメーション」刊行にあたって	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 日本教育工学会論文誌	6. 最初と最後の頁 257 ~ 260
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.15077/jjet.45139	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また, その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 稲垣 忠, 高橋 純, 泰山 裕, 山本 朋弘	4. 巻 45
2. 論文標題 教育実践においてDX が果たす役割	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 日本教育工学会論文誌	6. 最初と最後の頁 273 ~ 281
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.15077/jjet.45124	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また, その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 村上 唯斗, 野澤 博孝, 高橋 純	4. 巻 45
2. 論文標題 情報活用能力指導の実施状況を把握するためのチェックリストの開発と評価	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 日本教育工学会論文誌	6. 最初と最後の頁 319 ~ 330
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.15077/jjet.45025	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また, その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 村上 唯斗、轟木 梨奈、高橋 純	4. 巻 45
2. 論文標題 日常的に1人1台端末及びクラウドを活用している学級の授業における児童のPC 活用の特徴に関する事例分析	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 日本教育工学会論文誌	6. 最初と最後の頁 209～212
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.15077/jjet.S45101	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

[学会発表] 計126件(うち招待講演 1件/うち国際学会 14件)

1. 発表者名 Tomohiro Yamamoto, Tatsuya Horita
2. 発表標題 Remote Support for Programming-Related Teaching in Elementary Schools by University Students
3. 学会等名 9th International Conference on Learning Technologies and Learning Environments (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Asuka MURAI, Tatsuya HORITA
2. 発表標題 Investigation of Structures of Television Documentary Representation Based on Qualitative Analysis of Descriptions by Program Directors
3. 学会等名 International Conference for Media in Education (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Tomohiro Yamamoto, Tatsuya Horita
2. 発表標題 Analysis of Teacher Training Students' Understanding on Learning Objectives in Elementary School Programming Classes Using IoT Materials
3. 学会等名 Proceedings of SITE 2020 (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 小田理代, 登本洋子, 堀田龍也
2. 発表標題 英国・韓国・ニュージーランドの初等中等教育におけるコンピュータサイエンス教育のカリキュラムの体系に関する整理
3. 学会等名 情報処理学会・コンピュータと教育(CE)研究会 Vol.2020-CE-158
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 小田理代, 登本洋子, 堀田龍也
2. 発表標題 シンガポール・エストニア・イタリアの初等教育におけるコンピュータサイエンス教育の調査
3. 学会等名 日本教育工学会研究報告集 JSET20-4
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 安里基子, 佐藤正寿, 高橋純, 堀田龍也
2. 発表標題 社会科の教科書で用いられているグラフからの情報の取り出しに関する児童の実態把握のための調査設計
3. 学会等名 日本教育工学会研究報告集 JSET20-4
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 鈴木美森, 堀田龍也, 山本朋弘, 中川哲, 佐藤和紀, 三井一希
2. 発表標題 小学校第5学年算数「正多角形」の単元におけるプログラミング教育の学習指導案を対象とした指導過程の分析
3. 学会等名 日本教育工学会研究報告集 JSET20-4
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 小田理代, 登本洋子, 山本朋弘, 堀田龍也
2. 発表標題 初等中等教育のコンピュータサイエンス教育とカリキュラムの特徴に関する検討
3. 学会等名 日本教育工学会研究報告集 JSET20-3
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 村井明日香, 宇治橋祐之, 浅井亜紀子, 齋藤玲, 堀田龍也
2. 発表標題 テレビドキュメンタリーに対する番組制作者の制作経験および意識・態度の調査結果
3. 学会等名 日本教育メディア学会研究会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 渡邊光浩, 佐藤和紀, 柴田隆史, 堀田龍也
2. 発表標題 日本語キーボード入力の指導方略に関する研究
3. 学会等名 日本教育工学会研究報告集 JSET20-2
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 八木澤史子, 堀田龍也
2. 発表標題 1人1台の情報端末を活用した小学校の授業における教師の教授知識の傾向
3. 学会等名 日本教育工学会研究報告集 JSET20-2
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 鈴木美森, 佐藤和紀, 三井一希, 中川哲, 山本朋弘, 堀田龍也
2. 発表標題 プログラミング教育推進校の実践事例における教材の使用傾向に関する調査結果
3. 学会等名 日本教育工学会研究報告集 JSET20-2
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 横誠司, 中野博幸, 堀田龍也
2. 発表標題 新領域「データの活用」における統計的データの読解力を育成するための教材についての一考察 -新型コロナウイルス関連のデータを活用した小・中・高等学校の教材作成を通して-
3. 学会等名 日本科学教育学会 第10回研究会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 小田理代, 登本洋子, 堀田龍也
2. 発表標題 諸外国のコンピュータサイエンス教育に関するカリキュラム比較
3. 学会等名 日本教育工学会研究報告集 JSET20-1
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 渡邊光浩, 三井一希, 佐藤和紀, 中野生子, 小出泰久, 堀田龍也
2. 発表標題 1人1台情報端末の活用初期におけるキーボードによる日本語入力スキルの実態の分析の試み
3. 学会等名 日本教育工学会 2021年春季全国大会講演論文集
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 佐藤和紀, 三井一希, 手塚和佳奈, 若月陸央, 高橋純, 中川哲, 堀田龍也
2. 発表標題 GIGAスクール構想が先行している小学校高学年へのICT活用調査 -PISA2018のICT活用調査を用いて
3. 学会等名 日本教育工学会 2021年春季全国大会講演論文集
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 手塚和佳奈, 佐藤和紀, 三井一希, 浅井公太, 久川慶貴, 棚橋俊介, 堀田龍也
2. 発表標題 1人1台端末導入1ヶ月の情報モラル指導に関する小学校教師の意識調査
3. 学会等名 日本教育工学会 2021年春季全国大会講演論文集
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 板垣翔大, 中川哲, 堀田龍也
2. 発表標題 人工知能を用いたプログラミングについて理解するためのe-Learningコースの受講による意識の変化
3. 学会等名 日本教育工学会 2021年春季全国大会講演論文集
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 小田理代, 登本洋子, 堀田龍也
2. 発表標題 エストニアのコンピュータサイエンスプログラム “ProgeTiger” の学習内容に関する調査
3. 学会等名 日本教育工学会 2021年春季全国大会講演論文集
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 安里基子, 佐藤正寿, 高橋純, 堀田龍也
2. 発表標題 小学校社会科の教科書で用いられているグラフからの情報の取り出しに関する実態調査の分析
3. 学会等名 日本教育工学会 2021年春季全国大会講演論文集
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 下川恭子, 山本朋弘, 堀田龍也
2. 発表標題 児童が情報モラル教材を活用した授業後に保護者に説明する家庭での学び合いに関する一考察
3. 学会等名 全日本教育工学研究協議会 第46回全国大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 鈴木美森, 佐藤和紀, 三井一希, 中川哲, 山本朋弘, 堀田龍也
2. 発表標題 プログラミング教育推進校の学習指導案における「本時の目標」に関する分析
3. 学会等名 全日本教育工学研究協議会 第46回全国大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 木島麻子, 高橋純, 佐藤和紀, 渡邊光浩, 佐藤正寿, 堀田龍也
2. 発表標題 小学校段階の情報教育を目的とした情報テキスト改訂の開発手順
3. 学会等名 全日本教育工学研究協議会 第46回全国大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 久川慶貴, 佐藤和紀, 高橋純, 堀田龍也
2. 発表標題 キーボードでの文字入力速度の向上を目指した短時間の作文の実践
3. 学会等名 全日本教育工学研究協議会 第46回全国大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 三井一希, 荒川詠美, 鈴木美森, 佐藤和紀, 中川哲, 堀田龍也
2. 発表標題 授業でChromebookを使い始めた児童が2カ月経過後に感じる学習の効果と課題
3. 学会等名 全日本教育工学研究協議会 第46回全国大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 榎誠司, 中野博幸, 堀田龍也
2. 発表標題 小学校第6学年算数教科書の新領域「データの活用」の単元における統計項目の分類による比較検討
3. 学会等名 日本教育工学会 2020年秋季全国大会講演論文集
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 渡邊光浩, 堀田龍也
2. 発表標題 初等中等教育におけるICT操作スキルに関する研究
3. 学会等名 日本教育工学会 2020年秋季全国大会講演論文集
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 鈴木美森, 佐藤和紀, 三井一希, 中川哲, 山本朋弘, 堀田龍也
2. 発表標題 プログラミング教育推進校の実践事例における学年と教科等に着目した特徴分析
3. 学会等名 日本教育工学会 2020年秋季全国大会講演論文集
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 佐藤正寿, 槇誠司, 堀田龍也
2. 発表標題 新学習指導要領による小学校第5学年社会科教科書における情報技術を題材にした学習内容の傾向
3. 学会等名 日本教育工学会 2020年秋季全国大会講演論文集
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 小田理代, 登本洋子, 堀田龍也
2. 発表標題 初等教育段階からコンピュータサイエンス教育を導入している4カ国の予備調査
3. 学会等名 日本教育工学会 2020年秋季全国大会講演論文集
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 小田理代, 登本洋子, 堀田龍也
2. 発表標題 シンガポール・エストニア・韓国におけるコンピュータサイエンス教育の導入状況
3. 学会等名 日本教育情報学会 第36回年会論文集
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 佐藤正寿, 堀田龍也
2. 発表標題 小学校学習指導要領社会科の産業学習における資料を活用する技能や表現力の育成に関する用語の調査
3. 学会等名 日本教育情報学会 第36回年会論文集
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 渡邊光浩, 堀田雄大, 佐藤和紀, 椎井慎太郎, 桑原浩二, 手塚和佳奈, 柴田隆史, 堀田龍也
2. 発表標題 タブレットのソフトウェアキーボードを日常的に活用している学級への外付けキーボード導入時における実態調査
3. 学会等名 日本教育情報学会 第36回年会論文集
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 安里基子, 佐藤正寿, 高橋純, 堀田龍也
2. 発表標題 社会科の教科書で用いられているグラフからの情報の取り出しに関する児童の実態調査のための問題の設計
3. 学会等名 日本教育情報学会 第36回年会論文集
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 柴田隆史, 藤井彌智, 山崎寛山, 佐藤和紀, 堀田龍也
2. 発表標題 学校でのタブレット端末の利用による生徒と保護者の健康面に対する意識の変化
3. 学会等名 日本デジタル教科書学会 第9回年次大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Michiyo Oda, Tatsuya Horita
2. 発表標題 Characteristics and Challenges of Japanese Computer Science Education in Elementary Level
3. 学会等名 Proceedings of SITE 2019 (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Takashi Shibata, Erika Drago, Takayuki Araki, Tatsuya Horita
2. 発表標題 Educational Effectiveness and Learner Behavior When Using Desktop-Style VR System
3. 学会等名 International Display Workshops General Incorporated Association IDW'19 (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Takeharu Ishizuka, Daisuke Hironaka, and Tatsuya Horita
2. 発表標題 Design for Curriculum on Programming Education in Primary Schools of Japan from 2020
3. 学会等名 Proceedings of ISSEP 2019 (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 泰山裕, 堀田龍也
2. 発表標題 新学習指導要領における教科等・校種ごとの情報活用能力の特徴整理
3. 学会等名 日本教育工学会研究報告集JSET19-2
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 村上唯斗, 野澤博孝, 高橋純
2. 発表標題 「情報活用能力の体系表例」を網羅したチェックリストの開発
3. 学会等名 日本教育工学会研究報告集JSET19-5
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 大久保紀一朗, 佐藤和紀, 堀田龍也
2. 発表標題 拡大図や縮図の作図手順の検討にプログラミングを取り入れた学習効果
3. 学会等名 日本教育工学会研究報告集JSET19-1
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 三井一希, 佐藤和紀, 萩原文博, 竹内慎一, 堀田龍也
2. 発表標題 総合的な学習の時間「福祉分野」における探究のサイクルに位置付けたプログラミング教育の実践
3. 学会等名 日本教育工学会研究報告集JSET19-1
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 板垣翔大, 佐藤和紀, 中川哲, 磯川祐地, 中野博幸, 山本朋弘, 久保田善彦, 梅田成二, 堀田龍也
2. 発表標題 micro:bitが配布された小学校200校を対象としたプログラミング教育の実施状況に関する調査
3. 学会等名 日本教育工学会研究会JSET19-2
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 板垣翔大, 浅水智也, 佐藤和紀, 中川哲, 安藤明伸, 堀田龍也
2. 発表標題 プログラミングによる問題解決を通してAIへの理解を深める中学校技術科の授業開発と実践
3. 学会等名 日本教育工学会研究報告集JSET19-5
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 板垣翔大, 浅水智也, 佐藤和紀, 中川哲, 安藤明伸, 堀田龍也
2. 発表標題 AIについて体験的に学習した中学生のAIに対する理解度と意識の関係
3. 学会等名 情報処理学会コンピュータと教育研究会153回研究発表会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 木村明憲, 黒上晴夫
2. 発表標題 小学校社会科における児童が主体的・対話的で深い学びを実現させる学習過程の検討 - 情報活用能力の育成を基盤に据えた授業実践を通して -
3. 学会等名 日本教育メディア学会研究会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 山本朋弘, 堀田龍也
2. 発表標題 IoT教材を用いた授業を体験した大学生の小学校プログラミングへの理解深化に関する一考察
3. 学会等名 日本教育工学会研究会報告集JSET19-2
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 堀田龍也
2. 発表標題 情報社会の進展に向けた「読解力」の現状と課題
3. 学会等名 日本教育技術学会第33回京都大学大会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 山本朋弘, 堀田龍也
2. 発表標題 IoT教材を用いた小学校プログラミング授業における教員養成課程の大学生の目標理解と授業設計に関する一考察
3. 学会等名 全日本教育工学研究協議会第45回全国大会島根大会論文集
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 山本朋弘, 堀田龍也
2. 発表標題 教員養成課程でのIoT教材を活用したプログラミング体験の評価
3. 学会等名 日本教育工学会2019年秋季全国大会講演論文集
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 山本朋弘, 堀田龍也
2. 発表標題 小学校理科でのIoT教材のセンサーを活用したプログラミング体験に関する考察
3. 学会等名 日本科学教育学会第43回年次大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 山本朋弘, 堀田龍也, 三井一希, 木村明憲, 大久保紀一朗
2. 発表標題 情報教育の実践家が有する小学校プログラミング教育の推進ビジョンに関する事例分析
3. 学会等名 日本教育工学会研究報告集JSET19-5
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 中尾教子, 福山創, 泰山裕, 佐藤和紀, 堀田龍也
2. 発表標題 情報活用能力の育成に係る校内指標の作成に関する調査 -小学校2校に対するインタビュー調査から-
3. 学会等名 日本教育工学会研究報告集JSET19-5
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 登本洋子, 高橋純, 堀田龍也
2. 発表標題 高校生のPCとスマホにおける文字入力速度に関する調査
3. 学会等名 日本教育工学会研究報告集JSET19-5
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 槇誠司, 中野博幸, 堀田龍也
2. 発表標題 小学校及び中学校の校務分掌における統計的リテラシー項目の分類による比較検討
3. 学会等名 日本教育工学会研究報告集JSET19-4
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 横誠司, 堀田龍也
2. 発表標題 大学入学共通テストの試行調査問題数学 ・ 数学Aの調査結果からみる高校生の統計的リテラシーの実態
3. 学会等名 日本教育工学会研究報告集JSET19-3
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 大久保紀一朗, 和田裕一, 窪俊一, 堀田龍也
2. 発表標題 小学校高学年児童のマンガに対する意識・態度に関する調査結果の分析
3. 学会等名 日本教育工学会研究報告集JSET19-3
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 小田理代, 堀田龍也
2. 発表標題 諸外国のプログラミングに関する学習のカリキュラムの調査
3. 学会等名 日本教育工学会研究報告集JSET19-3
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 渡邊光浩, 堀田龍也
2. 発表標題 1人1台端末を活用した小学校の授業における児童の操作の特徴
3. 学会等名 日本教育工学会研究報告集JSET19-2
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 佐藤正寿, 堀田龍也
2. 発表標題 小学校第5学年の社会科教科書の産業学習における情報技術の社会的影響の内容の変遷についての分析
3. 学会等名 日本教育工学会研究報告集JSET19-2
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 小田理代, 登本洋子, 堀田龍也
2. 発表標題 日本の中等教育・高等教育におけるコンピュータサイエンスに関する学習の系統性の整理
3. 学会等名 日本教育工学会研究報告集JSET19-2
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 小柳和喜雄
2. 発表標題 豪州のICT Literacy調査の方法の変遷に関する研究
3. 学会等名 日本教育メディア学会全国大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 柴田隆史, 藤井彌智, 山崎寛山, 佐藤和紀, 堀田龍也
2. 発表標題 学校でのタブレット端末利用に伴う生徒の健康面に対する意識変化
3. 学会等名 日本デジタル教科書学会第8回年次大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 渡邊光浩, 堀田龍也
2. 発表標題 児童が1人1台端末を活用する授業の学習活動において用いられている操作スキルの分析の試み
3. 学会等名 日本教育工学会2020年春季全国大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 渡邊光浩, 堀田龍也
2. 発表標題 児童が1人1台端末を活用する授業における学習活動の分析の試み
3. 学会等名 日本教育情報学会第35回年会論文集
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 槇誠司, 中野博幸, 堀田龍也
2. 発表標題 新旧学習指導要領における統計の学習内容についての比較分析
3. 学会等名 日本教育工学会2020年春季全国大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 槇誠司, 堀田龍也
2. 発表標題 小学校第6学年の全国学力・学習状況調査における統計リテラシー関連設問数と正答率に関する分析
3. 学会等名 日本教育工学会2019年秋季全国大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 佐藤正寿, 齋藤玲, 槇誠司, 堀田龍也
2. 発表標題 小学校第5学年の社会科教科書の産業学習におけるテクノロジーの社会的影響の調査
3. 学会等名 日本教育情報学会第35回年会論文集
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 西田光昭, 西浦友章, 佐藤和紀, 高橋純, 堀田龍也
2. 発表標題 情報モラル指導体系の変化に合わせた指導教材の変化
3. 学会等名 全日本教育工学研究協議会第45回全国大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 木島麻子, 高橋純, 佐藤和紀, 渡邊光浩, 佐藤正寿, 堀田龍也
2. 発表標題 小学校段階の情報教育を目的とした情報テキスト改訂に対する調査結果
3. 学会等名 全日本教育工学研究協議会第45回全国大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Takashi SHIBATA, Kazunori SATO, Shota ITAGAKI, Masayuki TSUNEKAWA, Shuboh TAYA, Tatsuya HORITA
2. 発表標題 Effects of Anti-glare Film on Tablet Usability by Elementary School Students
3. 学会等名 The 20th International Conference of the International Ergonomics Association (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Wakio OYANAGI, Tatsuya HORITA
2. 発表標題 Methods for Analyzing the Reading Ability of Children on Social Media
3. 学会等名 International Conference for Media in Education (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Fumiko YAGISAWA, Tatsuya HORITA
2. 発表標題 The Classification of Teachers' Knowledge of 1-to-1 Elementary Education
3. 学会等名 International Symposium on Educational Technology (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Kiichiro OKUBO, Kazunori SATO, Yuichi WADA, Kazuyuki ASAI, Shunichi KUBO, Tatsuya HORITA
2. 発表標題 Study of Manga Reading Comprehension and Teaching Methods for Manga Reading
3. 学会等名 7th International Conference on Learning Technologies and Learning Environments (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Takashi Shibata, Erika Drago, Takayuki Araki, Tatsuya Horita
2. 発表標題 Encouraging Collaborative Learning in Classrooms Using Virtual Reality Techniques
3. 学会等名 Proceedings of ED-MEDIA 2018 (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 山本朋弘, 堀田龍也
2. 発表標題 小学校プログラミング教育でのペアプログラミングによる学習効果に関する一考察
3. 学会等名 日本教育工学会研究報告集JSET19-1
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 板垣翔大, 磯川祐地, 佐藤和紀, 萩原文博, 竹内慎一, 堀田龍也
2. 発表標題 小学校高学年のプログラミング学習における学習形態と難易度別の所要時間の関係
3. 学会等名 日本教育工学会研究報告集JSET19-1
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 佐藤正寿, 堀田龍也
2. 発表標題 小学校社会科の学習指導要領における産業学習に関わる情報技術の社会的影響の内容の分析
3. 学会等名 日本教育工学会研究報告集JSET19-1
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 山本朋弘, 堀田龍也
2. 発表標題 計算論的思考の視点からみた小学校プログラミング事例の教材や学習形態の分析
3. 学会等名 日本教育工学会研究報告集JSET18-5
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 佐藤正寿, 安里基子, 山本朋弘, 堀田龍也
2. 発表標題 小学校第5学年を対象とした情報技術の社会的影響の理解の向上を目指した授業実践
3. 学会等名 日本教育工学会研究報告集JSET18-3
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 柴田隆史, 藤井彌智, 山崎寛山, 佐藤和紀, 堀田龍也
2. 発表標題 学校でのICT導入に対する生徒と保護者の健康面に関する意識
3. 学会等名 日本人間工学会関東支部第48回大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 佐藤和紀, 堀田龍也
2. 発表標題 メディア・リテラシーの授業実践の分析による授業設計の支援の検討
3. 学会等名 日本教育メディア学会第25回年次大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 佐藤和紀, 小柳和喜雄, 堀田龍也
2. 発表標題 教師のライフステージからみたメディア・リテラシーの知識獲得段階に関する考察
3. 学会等名 日本教育工学会第34回全国大会講演論文集
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 渡邊光浩, 堀田龍也, 高橋純, 新地辰朗
2. 発表標題 新小学校学習指導要領(平成29年告示)解説におけるICTに関する記述の特徴
3. 学会等名 日本教育工学会第34回全国大会講演論文集
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 佐藤和紀, 磯川祐地, 萩原文博, 竹内慎一, 堀田龍也
2. 発表標題 IoTブロックを活用したプログラミング教育の実践構想に関する分類
3. 学会等名 日本デジタル教科書学会第7回年次大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 柴田隆史, 佐藤和紀, 板垣翔大, 恒川雅行, 田谷周望, 堀田龍也
2. 発表標題 小学校でのタブレット端末利用におけるアンチグレアフィルムの効果
3. 学会等名 日本人間工学会第59回大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Wakio OYANAGI, Tatsuya HORITA
2. 発表標題 A Study on Method to Analyze the Reading Ability of Children on Information via Social Media
3. 学会等名 16th International Conference for Media in Education 2018 (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 中西奈菜 , 石原浩一 , 土井国春 , 泰山裕
2. 発表標題 タブレット端末に対する意識と情報活用能力の関連
3. 学会等名 日本教育工学会研究報告集JSET19-1
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 土井国春 , 泰山裕
2. 発表標題 プログラミング学習を通じた児童の情報社会の見方の変容
3. 学会等名 日本教育メディア学会研究会論集第46号
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 藤井彌智 , 柴田隆史
2. 発表標題 学校でのICT機器利用に関する養護教諭の理解
3. 学会等名 日本学校保健学会第65回学術大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Mitsuhiro Watanabe, Kazuki Mitsui, Kazunori Sato, Seiko Nakano, Yasuhisa Koide, Tatsuya Horita
2. 発表標題 A Comparative Study of Japanese Input Speed by Keyboard of Elementary School Children Learning with 1:1 Devices for the First Time
3. 学会等名 10th International Congress on Advanced Applied Informatics (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Michiyo ODA, Yoko NOBORIMOTO, Tatsuya HORITA
2. 発表標題 Analysis of K-12 Computer Science Curricula from the Perspective of a Competency-Based Approach
3. 学会等名 Proceedings of SITE 2022 (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 渡邊光浩, 三井一希, 佐藤和紀, 堀田龍也
2. 発表標題 小学生を対象とした「クラウド」に関する知識についての調査
3. 学会等名 日本教育メディア学会研究会論集第52号
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 木島麻子, 高橋純, 佐藤和紀, 渡邊光浩, 堀田龍也
2. 発表標題 情報教育テキストを用いた小学校段階の情報活用能力育成の取り組みやすさ等に関する調査
3. 学会等名 全日本教育工学研究協議会 第47回全国大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 山本朋弘, 堀田龍也, 小柳和喜雄
2. 発表標題 情報端末環境での児童生徒1人1台と共用の違いによる教員のICT活用指導力の比較分析
3. 学会等名 日本教育工学会2021年秋季全国大会講演論文集
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 横誠司, 中野博幸, 堀田龍也
2. 発表標題 小学校第6学年算数教科書の教師用指導書における「データの活用」に関する統計項目の検討
3. 学会等名 日本教育工学会 2021年秋季全国大会講演論文集
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 横誠司, 中野博幸, 堀田龍也
2. 発表標題 小学校学習指導要領における統計項目の分類 -国語科, 社会科, 算数科, 理科, 家庭科の分析を通して-
3. 学会等名 日本教育工学会 2022年春季全国大会講演論文集
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 三井一希, 板垣翔大, 泰山裕, 大久保紀一朗, 佐藤和紀, 堀田龍也
2. 発表標題 小学生を対象にしたクラウドコンピューティングの理解に関する実態調査
3. 学会等名 日本教育工学会2022年春季全国大会講演論文集
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 稲木健太郎, 泰山裕, 三井一希, 大久保紀一朗, 佐藤和紀, 堀田龍也
2. 発表標題 学習方法の自己選択の経験頻度がメタ認知的活動に与える影響
3. 学会等名 日本教育工学会2022年春季全国大会講演論文集
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 久川慶貴, 佐藤和紀, 三井一希, 堀田龍也
2. 発表標題 小学6年生算数科の文章題の問題構造の把握を支援するクラウドサービスを活用した授業実践
3. 学会等名 第47回全日本教育工学研究協議会全国大会講演論文集
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 棚橋俊介, 佐藤和紀, 三井一希, 板垣翔大, 堀田龍也
2. 発表標題 小学校理科「すがたを変える水」の温度測定におけるプログラミングを活用した授業の実践と評価
3. 学会等名 第47回全日本教育工学研究協議会全国大会講演論文集
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 稲木健太郎, 三井一希, 佐藤和紀, 泰山裕, 堀田龍也
2. 発表標題 小学校第3学年社会科においてオンラインで外部講師と質疑応答を行う学習を取り入れた授業実践と評価
3. 学会等名 第47回全日本教育工学研究協議会全国大会講演論文集
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 三井一希, 稲木健太郎, 塩島諒輔, 今吉亮, 松平健, 佐藤和紀, 堀田龍也
2. 発表標題 小学生がスマート農業を体験するためのツール「SchoolMy Board」の開発と授業実践
3. 学会等名 第47回全日本教育工学研究協議会全国大会講演論文集
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 橋本大我, 板垣翔大, 柴田隆史, 佐藤和紀, 三井一希, 泰山裕, 堀田龍也
2. 発表標題 AIによる骨格検出を用いたコンピュータ使用時の視距離推定の試行
3. 学会等名 日本教育工学会研究報告集 JSET21-1
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 板垣翔大, 橋本大我, 柴田隆史, 佐藤和紀, 三井一希, 泰山裕, 堀田龍也
2. 発表標題 AIによる骨格検出技術を用いたコンピュータ使用時の視距離改善システムの試作
3. 学会等名 日本教育工学会2021年秋季全国大会講演論文集
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 若月陸央, 佐藤和紀, 久川慶貴, 三井一希, 堀田龍也
2. 発表標題 小学校高学年児童のチャット使用が探究的な学習過程の「情報の収集・整理分析の段階」に及ぼす効果
3. 学会等名 日本教育メディア学会研究会論集第52号
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 手塚和佳奈, 佐藤和紀, 大久保紀一朗, 久保田善彦, 堀田龍也, 谷塚光典
2. 発表標題 メディアや情報に対して小学校高学年の児童がもつステレオタイプやバイアスに関する実態調査
3. 学会等名 日本教育工学会研究報告集 JSET21-4
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 手塚和佳奈, 佐藤和紀, 大久保紀一朗, 久保田善彦, 堀田龍也, 谷塚光典
2. 発表標題 メディアや情報に対して大学生がもつステレオタイプやバイアスに関する実態調査の試み
3. 学会等名 日本教育工学会研究報告集 JSET21-3
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 若月陸央, 久川慶貴, 三井一希, 佐藤和紀, 堀田龍也
2. 発表標題 探究的な学習過程の「情報の収集・整理分析の段階」における小学校高学年のチャット活用に対する意識調査
3. 学会等名 日本教育工学会2022年春季全国大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 久川慶貴, 佐藤和紀, 泰山裕
2. 発表標題 学習方法の記録を参照する活動が学習の振り返りに及ぼす効果の検討
3. 学会等名 日本教育工学会2022年春季全国大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 手塚和佳奈, 佐藤和紀, 大久保紀一朗, 久保田善彦, 堀田龍也, 谷塚光典
2. 発表標題 小学校高学年の児童の画像情報の読み解きの段階と特徴
3. 学会等名 日本教育工学会2022年春季全国大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 手塚和佳奈, 佐藤和紀, 久保田善彦
2. 発表標題 メディアや情報に対して小学校高学年の児童がもつバイアスに関する実態調査
3. 学会等名 日本教育メディア学会第28回年次大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 手塚和佳奈, 佐藤和紀, 堀田龍也, 谷塚光典
2. 発表標題 情報を読み解く力の育成を目指したメディア・リテラシー教育実践の教材・学習目標・学習活動の整理・分析
3. 学会等名 第47回全日本教育工学研究協議会全国大会発表論文集
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 手塚和佳奈, 佐藤和紀, 堀田龍也, 谷塚光典
2. 発表標題 情報活用能力の育成を目指した実践研究に対するPISA型読解力の要素による分類
3. 学会等名 日本教育工学会2021年秋季全国大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 泰山裕, 佐藤和紀, 三井一希, 板垣翔大, 堀田龍也
2. 発表標題 思考過程の共有が児童の思考に与える影響の検討
3. 学会等名 日本教育工学会2022年春季全国大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 柴田隆史, 藤井彌智, 山崎寛山, 佐藤和紀, 堀田龍也
2. 発表標題 中学生の家庭学習におけるデジタル機器利用と健康面に関する意識
3. 学会等名 日本人間工学会関東支部第51回大会講演集
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 大久保紀一朗, 恩田真衣, 恩田岬, 三井一希, 佐藤和紀, 堀田龍也
2. 発表標題 小学校第3学年を対象としたクラウドに関する理解を促す学習が主体的な活用に対する意識に与える影響の検討
3. 学会等名 日本教育メディア学会研究会論集第52号
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 八木澤史子, 安里基子, 遠藤みなみ, 佐藤和紀, 堀田龍也
2. 発表標題 クラウドでの共同編集機能を用いた学習指導案の修正過程の分析
3. 学会等名 日本教育工学会研究報告集 JSET21-4
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 遠藤みなみ, 佐藤和紀, 堀田龍也
2. 発表標題 小学校の初任者教師のICT活用に関する省察の実態把握の試み
3. 学会等名 日本教育工学会研究報告集 JSET21-4
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 八木澤史子, 大久保紀一朗, 堀田龍也
2. 発表標題 児童が情報端末を活用する授業における教師の授業設計に関する傾向
3. 学会等名 日本教育工学会研究報告集 JSET21-1
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 堀田雄大, 佐藤和紀, 三井一希, 手塚和佳奈, 浅井公太, 久川慶貴, 堀田龍也
2. 発表標題 GIGAスクール構想が先行している小学校高学年への読解力に関するコンピュータ活用型調査の試行 -PISA2018年調査問題例の出題形式と内容を参考に-
3. 学会等名 日本教育工学会研究報告集 JSET21-1
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 後藤宗, 三井一希, 佐藤和紀, 堀田龍也
2. 発表標題 情報モラルを学ぶシナリオゲームの活用による自己省察の家庭でのゲームの利用時間と時間配分を調整する効果の分析
3. 学会等名 第47回全日本教育工学研究協議会全国大会講演論文集
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 八木澤史子, 大久保紀一朗, 堀田龍也
2. 発表標題 小学校における情報端末およびクラウドを活用した実践事例映像の分析
3. 学会等名 日本教育工学会2021年秋季全国大会講演論文集
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 小田理代, 登本洋子, 堀田龍也
2. 発表標題 韓国の初等中等教育における人工知能に関する教育の調査
3. 学会等名 日本教育工学会2021年秋季全国大会講演論文集
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 大久保紀一朗, 中川哲, 八木澤史子, 堀田龍也
2. 発表標題 小学校第6学年国語科の教師用指導書における認知負荷を伴う読み方の指示に関する調査
3. 学会等名 日本デジタル教科書学会 第10回年次大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 村上唯斗, 水谷年孝, 登本洋子, 高橋純
2. 発表標題 1人1台端末及びクラウド活用が日常化した中学校における教員及び生徒の意識
3. 学会等名 日本教育工学会研究報告集 JSET21-3
4. 発表年 2021年

〔図書〕 計30件

1. 著者名 堀田龍也, 高橋純, 佐藤正寿, 渡邊光浩, 佐藤和紀	4. 発行年 2021年
2. 出版社 学研教育みらい	5. 総ページ数 72
3. 書名 わたしたちとじょうほう 情報活用スキル編	

1. 著者名 堀田龍也、高橋純、佐藤正寿、渡邊光浩、佐藤和紀	4. 発行年 2021年
2. 出版社 学研教育みらい	5. 総ページ数 72
3. 書名 私たちと情報 情報社会探究編	

1. 著者名 棚橋 俊介、西久保 真弥、堀田 龍也、佐藤 和紀、三井 一希、渡邊 光浩	4. 発行年 2021年
2. 出版社 さくら社	5. 総ページ数 112
3. 書名 GIGAスクールはじめて日記	

1. 著者名 中橋 雄、後藤 康志、森本 洋介、宇治橋 祐之、佐藤 和紀、中村 純子、鶴田 利郎、土屋 祐子、前田 康裕、浅井 和行、奥泉 香、水越 伸、堀田 龍也、中川 一史	4. 発行年 2021年
2. 出版社 北大路書房	5. 総ページ数 240
3. 書名 メディア・リテラシーの教育論	

1. 著者名 堀田 龍也、赤坂 真二、谷 和樹、佐藤 和紀	4. 発行年 2021年
2. 出版社 学芸みらい社	5. 総ページ数 240
3. 書名 “先生の先生”による集中討議！2 子どもも教師も元気になる「あたらしい学び」のつくりかた	

1. 著者名 赤堀 侃司、堀田 龍也、久保田 善彦、つくば市教育局総合教育研究所、つくば市立みどりの学園義務教育学校	4. 発行年 2021年
2. 出版社 東京書籍	5. 総ページ数 96
3. 書名 GIGAスクールで実現する新しい学び	

1. 著者名 お茶の水女子大学附属中学校, 堀田 龍也 ほか	4. 発行年 2020年
2. 出版社 明石書店	5. 総ページ数 208
3. 書名 コミュニケーション・デザインの学びをひらく	

1. 著者名 木村 明憲、黒上晴夫、堀田龍也	4. 発行年 2020年
2. 出版社 さくら社	5. 総ページ数 168
3. 書名 単元縦断×教科横断	

1. 著者名 堀田 龍也、為田 裕行、稲垣 忠、佐藤 靖泰、安藤明伸	4. 発行年 2020年
2. 出版社 さくら社	5. 総ページ数 132
3. 書名 学校アップデート	

1. 著者名 堀田 龍也	4. 発行年 2020年
2. 出版社 小学館	5. 総ページ数 112
3. 書名 間違えない学校ICT	

1. 著者名 堀田 龍也、佐藤 和紀	4. 発行年 2019年
2. 出版社 三省堂	5. 総ページ数 256
3. 書名 教職課程コアカリキュラム対応 情報社会を支える教師になるための教育の方法と技術	

1. 著者名 高橋 純、教師のための教育学シリーズ編集委員会	4. 発行年 2019年
2. 出版社 学文社	5. 総ページ数 228
3. 書名 教育方法とカリキュラム・マネジメント	

1. 著者名 吉田 武男、樋口 直宏	4. 発行年 2019年
2. 出版社 ミネルヴァ書房	5. 総ページ数 202
3. 書名 教育の方法と技術	

1. 著者名 堀田 龍也、赤坂 真二、谷 和樹、佐藤 和紀	4. 発行年 2019年
2. 出版社 学芸みらい社	5. 総ページ数 180
3. 書名 “先生の先生”が集中討議！子どもも教師も元気になる「これからの教室」のつくりかた	

1. 著者名 黒上 晴夫	4. 発行年 2019年
2. 出版社 小学館	5. 総ページ数 96
3. 書名 教育技術MOOK 思考ツールでつくる 考える道徳	

1. 著者名 堀田 龍也、佐藤 和紀	4. 発行年 2019年
2. 出版社 三省堂	5. 総ページ数 256
3. 書名 教職課程コアカリキュラム対応 情報社会を支える教師になるための教育の方法と技術	

1. 著者名 堀田 龍也、佐藤 和紀、原 清治ほか	4. 発行年 2018年
2. 出版社 ミネルヴァ書房	5. 総ページ数 244
3. 書名 教育の方法と技術	

1. 著者名 堀田龍也、高橋 純、寺嶋 浩介	4. 発行年 2018年
2. 出版社 ミネルヴァ書房	5. 総ページ数 244
3. 書名 初等中等教育におけるICT活用	

1. 著者名 小柳和喜雄, 子安 潤	4. 発行年 2019年
2. 出版社 学文社	5. 総ページ数 192
3. 書名 教科と総合の教育方法・技術	

1. 著者名 泰山裕, 久保田賢一, 今野貴之ほか	4. 発行年 2018年
2. 出版社 東信堂	5. 総ページ数 228
3. 書名 主体的・対話的で深い学びの環境とICT	

1. 著者名 泰山裕、吉田 武男、樋口 直宏	4. 発行年 2019年
2. 出版社 ミネルヴァ書房	5. 総ページ数 202
3. 書名 教育の方法と技術	

1. 著者名 Type_T、堀田 龍也	4. 発行年 2021年
2. 出版社 学陽書房	5. 総ページ数 144
3. 書名 事例と動画でやさしくわかる！小学校プログラミングの授業づくり	

1. 著者名 安藤 明伸、額田 一利	4. 発行年 2021年
2. 出版社 小学館	5. 総ページ数 128
3. 書名 ここがポイント！小学校プログラミング教育の要点ズバリ！	

1. 著者名 「探究 学校図書館学」編集委員会	4. 発行年 2021年
2. 出版社 全国学校図書館協議会	5. 総ページ数 223
3. 書名 情報メディアの活用	

1. 著者名 ホーン川嶋瑤子	4. 発行年 2021年
2. 出版社 東信堂	5. 総ページ数 320
3. 書名 グローバル化、デジタル化で教育、社会は変わる	

1. 著者名 佐藤和紀、三井一希 編著	4. 発行年 2021年
2. 出版社 明治図書出版	5. 総ページ数 136
3. 書名 G I G Aのつまずきに徹底対応！ 1人1台端末活用パーフェクトQ & A	

1. 著者名 堀田龍也、久保田善彦、中野博幸、佐藤和紀	4. 発行年 2021年
2. 出版社 東洋館出版社	5. 総ページ数 104
3. 書名 テンプレートでわかる算数・理科のクラウド活用	

1. 著者名 稲垣 忠、佐藤 和紀、堀田 龍也、宇治橋 祐之、森下 孟、水内 豊和、八木澤 史子、北澤 武、堀田 博史、中尾 教子、三井 一希、登本 洋子、泰山 裕	4. 発行年 2021年
2. 出版社 北大路書房	5. 総ページ数 184
3. 書名 ICT活用の理論と実践	

1. 著者名 堀田 龍也、佐藤 和紀、三井 一希、渡邊 光浩、棚橋 俊介、西久保 真弥、浅井 公太、稲木 健太郎、松坂 真吾、山崎 寛山、本田 智弘	4. 発行年 2021年
2. 出版社 さくら社	5. 総ページ数 144
3. 書名 続・GIGAスクールはじめて日記	

1. 著者名 高橋純、水谷年孝 編著	4. 発行年 2021年
2. 出版社 明治図書出版	5. 総ページ数 224
3. 書名 1人1台タブレットではじめる小学校ICTの授業づくり 超入門！	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	佐藤 正寿 (SATO Masatoshi) (00823494)	東北学院大学・文学部・教授 (31302)	
研究分担者	高橋 純 (TAKAHASHI Jun) (10310757)	東京学芸大学・教育学部・准教授 (12604)	
研究分担者	渡邊 光浩 (WATANABE Mitsuhiro) (10823685)	鹿児島女子短期大学・その他部局等・准教授 (47704)	
研究分担者	板垣 翔大 (ITAGAKI Shota) (20847850)	宮城教育大学・教育学部・講師 (11302)	
研究分担者	佐藤 和紀 (SATO Kazunori) (30802988)	信州大学・学術研究院教育学系・助教 (13601)	

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	山本 朋弘 (YAMAMOTO Tomohiro) (40772843)	中村学園大学・教育学部・教授 (37109)	
研究分担者	榎 誠司 (MAKI Seiji) (60846997)	東京情報大学・総合情報学部・教授 (32515)	
研究分担者	石塚 丈晴 (ISHIZUKA Takeharu) (70293602)	福岡工業大学短期大学部・情報メディア学科・教授 (47121)	
研究分担者	三井 一希 (MITSUI Kazuki) (70880102)	常葉大学・教育学部・講師 (33801)	
研究分担者	柴田 隆史 (SHIBATA Takashi) (90367136)	東海大学・情報通信学部・教授 (32644)	
研究分担者	泰山 裕 (TAIZAN Yu) (90748899)	鳴門教育大学・大学院学校教育研究科・准教授 (16102)	
研究分担者	黒上 晴夫 (KUROKAMI Haruo) (20215081)	関西大学・総合情報学部・教授 (34416)	
研究分担者	野中 陽一 (NONAKA Yoichi) (10243362)	横浜国立大学・大学院教育学研究科・教授 (12701)	

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	小柳 和喜雄 (OYANAGI Wakio) (00225591)	奈良教育大学・教職開発講座・教授 (14601)	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関